

2018年度 表彰者リスト(対象期間:2017年4月~2018年3月)

種 類	推 薦 者		表 彰 者	
功労賞	JTA推薦	JTA総務委員会	家弓 明文、畠山 康、平木 理化、吉田 友佳	
	地域推薦	北海道		高崎 明子、山田 直樹
		東北		藤原 公浩(青森県)
		関東		金子 義明(東京都)、鶴岡 美津子(神奈川県)、朝見 康夫(埼玉県)、金子 美津江(埼玉県)、木本 知(千葉県)、茂木 弘(群馬県)、鈴木 紀雄(栃木県)、白戸 元文(茨城県)、五味 寛子(山梨県)
		北信越		持留 南州男(富山県)、畑 稔(石川県)
		東海		高木 郁生(静岡県)、神谷 富隆(岐阜県)
		関西		福井 一将(大阪府)、神田 昌住(大阪府)、竹内 宣行(兵庫県)、京田 弘幸(兵庫県)、山田 守(和歌山県)、木村 順(和歌山県)
		中国		松重 見司(山口県)
		四国		高尾 義信(愛媛県)
	九州		吉田 達正	
	協力団体推薦	協力団体	全国中学校テニス連盟	篠田 徹
	JTA推薦	JTA総務委員会/全日本テニス選手権歴代優勝者		江口 実沙
		JTA審判委員会/ボールパーソン		久間 幹太
		JTA審判委員会/ラインパーソン		香川 清香
JTA医事委員会/メディカルドクター		北條 達也		
最優秀団体賞	JTA総務委員会		早稲田大学 庭球部女子	
優秀団体賞	JTA総務委員会		城南学院	
特別功労賞	JTA専務理事		畔柳 信雄 渡邊 康二	
	特別感謝状	JTA総務委員会	公認ボール会社	HEAD Japan 株式会社 株式会社デサント
推薦会社			丸菱産業株式会社 UMIウエルネス株式会社	
協賛企業			ソニー生命保険株式会社	
JTA広報委員会			マスコミ及び広告企業	田沼 武男

2018年 選手・指導者部門表彰者リスト(対象期間:2018年1月~12月)

種 類	表 彰 者	選 考 理 由
年間最優秀選手賞	大坂 なおみ	全米オープンで日本人選手として初の四大大会シングルス優勝。世界ランク4位は伊達公子さん、錦織圭と並び日本人選手シングルス最高位。
年間優秀選手賞	錦織 圭	全米オープンで大坂とともに4強入り、同一大会で男女そろって四大大会の4強入りは史上初。1月後半にチャレンジャー大会で復帰してから11位までランキングを戻した。
	ダニエル 太郎	イスタンブール・オープンで、松岡修造さん、錦織圭、杉田祐一に続く日本男子4人目のツアー大会シングルス優勝。
	西岡 良仁	深セン・オープンで、日本男子5人目のツアー大会シングルス優勝。
	マクラクラン 勉	全豪オープンで、1955年全米優勝の宮城淳さん、加茂公成さん以来63年ぶりとなる四大大会4強入り
	穂積 絵莉/ 二宮 真琴	全仏オープンで、日本選手同士のペアでは初の四大大会決勝進出。
	加藤 未唯/ 二宮 真琴	東レPPOで、日本選手同士のペアでは同大会初の優勝。
	国枝 慎吾	全豪オープンで、3年ぶりの四大大会優勝。全仏オープンも制し、世界ランク1位に復帰した。アジアパラ大会でも優勝し、東京パラリンピックの出場権を獲得。
アジア競技大会 日本代表チーム	男子ダブルスで島袋将/上杉海斗組と伊藤雄哉/綿貫陽介組、女子ダブルスで加藤未唯/二宮真琴組、混合ダブルスで林恵里奈/上杉組が銅メダルを獲得。	
ベストフェドカッププレーヤー賞	奈良 くるみ	AOゾーンではカザフスタンのディアス、ワールドグループ2部プレーオフでは英国のワトソンに貴重な勝利を挙げた。チーム最年長選手としても、日本の勝利に貢献。
年間優秀ジュニア選手賞	田島 尚輝	全仏ジュニアで、チェコ選手と組んで男子ダブルス優勝。日本男子としては2006年にアルゼンチン選手と組んで優勝した錦織圭以来。
	内藤 祐希/ 佐藤 南帆	全仏ジュニアでダブルス準優勝
	内島 萌夏	全日本選手権でダブルス優勝。16歳で岐阜8万ドル準優勝。高校生でのアジア競技大会代表は沢松奈生子さん以来。
年間優秀指導者賞	Sasha Bajin	大坂なおみの指導者として、今シーズンの躍進に貢献。
	高田 充	2018年シーズンは西岡良仁、ダニエル太郎を中心に指導し、ツアー大会優勝に貢献。
	茂木 奈津子	2018年シーズンより大坂に帯同。フィジオセラピストとして躍進に貢献。
最躍進賞	綿貫 陽介	アジア競技大会で伊藤雄哉と組んだ男子ダブルスで銅メダル獲得、デビスカップ・ボスニア・ヘルツェゴヴィナ戦で代表デビューと初勝利、楽天オープンでツアー初勝利。
	清水 綾乃	ウィンブルドンで四大大会予選に初出場、全米オープン予選にも出場。自己最多となる年間4大会(久留米6万ドル、七尾2.5万ドル、浜松2.5万ドル、全日本選手権でシングルス・ミックスダブルスの二冠)。